

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	敦賀市CO2フリー水素サプライチェーン構築実証プロジェクト		
補助事業者名	敦賀市、関西電力、東芝 ESS		
補助事業の概要	福井県・立地地域の将来像の先導的な取組として、再エネ由来水素ステーションを活用した原子力由来の水素製造と需要創出の実証を行うとともに、本実証を踏まえた将来像の具体化に向けたスマートエリア基本計画を策定する。		
総事業費	89,947,467 円		
補助金充当額	89,947,467 円		
定量的目標	<p>【2022年度末】</p> <p>原子力発電由来の水素製造 625Nm3/年 水素製造におけるCO2削減量検証 9.4t-CO2/年</p> <p>【2025年度末】</p> <p>嶺南地域での水素モビリティの運行実現 1台以上</p> <p>【2030年度頃】</p> <p>RE100企業等進出による雇用者数 約100人 投資額 約100億円</p>		
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>原子力発電由来の電気によるCO2フリー水素の製造実証、製造から利用に至るまでのトラッキングによるCO2フリーエネルギーの可視化を行うことで、原子力の価値向上とともに、ゼロカーボン先進地域としての魅力向上に寄与した。</p> <p>CO2削減量は約3.7tであり、目標設定時の消費電力量に関して過去の最大値及びステーションのフル稼働を想定のうえ算定しており、実際の稼働状況や水素充填量の結果から目標値を達成しなかったが、原子力由来の水素については約700Nm3を製造することができた。</p> <p>今後も引き続き、水素サプライチェーンの構築を目指し、水素需要の創出を図るとともに、事業性を見据えた水素供給の大規模化・広域化に向けて取り組む。</p> <p>また、福井県・立地地域の将来像の具体化を目指し、本市の強みを活かしたスマートエリア形成に求められる先端サービスの導入に向けた基本計画を策定した。</p>		
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約	敦賀市	契約の目的	スマートエリア基本計画の作成
		契約の方法	随意契約
		契約の相手方	(一社) dialogue
		契約金額	9,990,000 円

	関西電力	1	契約の目的	水素トラッキングシステムの研究開発及び実証支援
			契約の方法	随意契約
			契約の相手方	BIPROGY 株式会社
			契約金額	29,000,000 円
		2	契約の目的	データ転送システムの構築及び保守メンテナンスによる原子力水素トラッキングシステムの実証支援
			契約の方法	相見積り
			契約の相手方	株式会社ナカテック
			契約金額	16,070,090 円
	東芝エネルギーシステムズ(株)	1	契約の目的	ステーション法定自主点検、補機点検、ステーション扉ラッチ腐食対策、カードル充填作業助勢、冷却液支給
			契約の方法	随意契約
			契約の相手方	(株)ウエキコーポレーション
			契約金額	15,093,200 円
		2	契約の目的	トラッキング対応 VPP 制御盤改造、UPS バッテリー交換作業、遠隔リモート監視システム通信管理
			契約の方法	随意契約
契約の相手方			東芝 IT コントロールシステム(株)	
契約金額			4,058,000 円	
3		契約の目的	R&D センター管理運営、冷却液交換作業、ステーション扉補修作業、火炎検知器位置変更作業	
		契約の方法	随意契約	
		契約の相手方	日本海産業(株)	
		契約金額	9,289,680 円	
4		契約の目的	ステーション光熱費	
		契約の方法	随意契約	
		契約の相手方	福井県農業協同組合	
		契約金額	919,105 円	
5	契約の目的	機械警備料		
	契約の方法	随意契約		
	契約の相手方	富山県総合警備保障(株)		
	契約金額	220,000 円		
6	契約の目的	水素燃料電池車 (MIRAI) リース		
	契約の方法	随意契約		

			契約の相手方	みずほ東芝リース(株)
			契約金額	571,349円
		7	契約の目的	水素製造装置除湿ユニット交換作業、水処理ユニット交換、非再生ポリッシャー交換
			契約の方法	随意契約
			契約の相手方	神鋼環境ソリューション
			契約金額	989,000円
来年度以降の事業見通し		発電所の集積地である嶺南地域ならではの水素需要の創出を図るため、引き続き再エネ由来水素ステーションを活用した水素製造に係る実証を行うとともに、CO2フリー水素サプライチェーン構築に向けて大規模化・広域化を見据えた事業可能性調査を実施する。		

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	敦賀市再エネ地産地消実証プロジェクト		
補助事業者名	敦賀市、北陸電力		
補助事業の概要	福井県・立地地域の将来像に定める「カーボンニュートラル 100%地域」の具体的な仕組みづくりとして、卒 FIT 家庭の環境価値を公共施設等へ循環させる実証とともに、住民参画を促進するスマートエリアの将来像となるビジョンを策定する。		
総事業費	8,336,762 円		
補助金充当額	8,336,762 円		
定量的目標	再エネ地産地消実証への市内卒 FIT 家庭の参加率 60%以上		
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>卒 FIT 電力の提供に同意いただいた家庭に対して電力量に応じた T ポイントを交付し、地域の環境価値を地域の中で循環する仕組みを構築することで、地域脱炭素の実現に向けた市民意識の向上、将来的な環境意識の高い先進企業の集積に向けた再エネ電源の供給力確保に寄与した。</p> <p>卒 FIT 対象世帯の参加率は約 50%であり、年度途中からの募集開始により期間が短く目標値には達しなかったが、制度周知の成果により年度後半には参加数が伸びた。</p> <p>また、福井県・立地地域の将来像の実現を目指し、市民の理解促進に向けて、本市の将来像となるスマートエリア形成を示したビジョンを策定した。</p>		
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約	敦賀市	契約の目的	スマートエリアビジョンの作成
		契約の方法	随意契約
		契約の相手方	(一社) dialogue
		契約金額	5,000,000 円
	北陸電力	契約の目的	募集サイトの制作・運営
		契約の方法	随意契約
		契約の相手方	CCC マーケティング(株)
		契約金額	3,336,762 円
来年度以降の事業見通し	引き続き再エネ地産地消事業を推進するとともに、CO2 フリー水素サプライチェーン構築実証の再エネ電源としても活用することで、住民参加型の再エネリソースの確保を促し、将来的な「カーボンニュートラル 100%地域」の実現を目指す。		

(備考)

- 1 事業完了した日から 3 ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領 8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載する

こと。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。

4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。

5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。